

地域の分校で 心豊かさ育つ

河北町 中上亮一 67歳

朝日町旧大谷小大暮山分校
廃校舎での白い紙ひこうき大
会。たかが紙ひこうきと甘い
気持ちで参加したが、とんで
もない大感激でした。全身が
ワクワク、どきどき、もっと
飛ばそう、もっと飛ばそうと
真剣になりました。
実行委員会の皆さんは大谷
地区育ちであることが全身に

感じられ、心の豊かさがにじ
み出ており、会場全体が真綿
に包まれた中で運営されてい
るかのようで心地よかつたで
す。自然、地域が人を育てる
のだと学びました。全国的に
分校は解体の流れになってい
ますが、分校のある地域こそ
が教育にもっとも心ざわしい
環境だと思えます。
深く長い歴史、伝統、人と
人の交わり、大自然の山、川、
動物、昆虫、植物、田んぼ、
畑などなど。人間教育は先生

から学ぶことではなく、大自
然から学ぶのではないでしょ
うか。お金もつけてなぜ悪い
と開き直る人、親、兄弟を殺
生する社会、弱い者をいじめ、
効率の悪い施設はつぶす、今
の政治です。考えてほしいで
す。
分校は廃止、統合と皆さん
が言いますが、私は違ふと思
います。本校を縮小し分校を
生かして、一年二年、自然
の中で体全身でさまざまな知
識を学べる舎にしてほしいで

す。この時代に最も必要な旧
大谷小大暮山分校校舎。建っ
ているうちは建たせておいて
ほしいと実行委員の皆さんは
言いますが、九十六年の長い
歴史、これからも積み重ねて
いかなければならないと思
います。
大暮山地区の皆さんのよう
に心豊かな人々が育つ大切な
学びやをこれからの子どもた
ちのために、必ず教育の場と
して生き返らせていただきた
い。多くの関係者の皆さん、

もう一度お考えくださるよう
お願い致します。
白い紙ひこうき大会実行委
員の皆さん、すてきな一日を
与えてくださりありがとうございました。